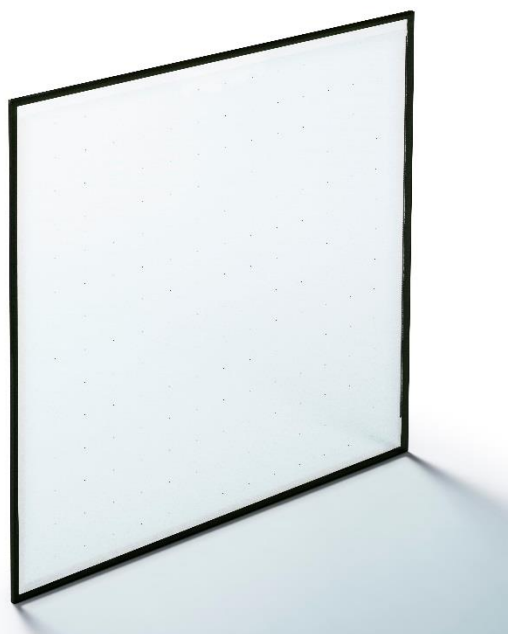


AGC とパナソニック、欧州市場向けに 業界最高クラスの「真空断熱ガラス」を共同開発

AGC 株式会社（以下、AGC、本社：東京、社長：島村琢哉）とパナソニック株式会社（以下、パナソニック、本社：大阪、社長：津賀一宏）は、業界最高クラス^{※1}の性能を持つ「真空断熱ガラス」を共同で開発し、欧州市場向けに販売することに合意しました。

AGC は同社のベルギーの工場に新たに真空断熱ガラスの生産ラインを導入し、2019 年 3 月より欧州の住宅市場向けに販売を開始します。なお、本件に関わる投資額は約 1,000 万ユーロで、新規に 20 名を雇用する予定です。

欧州では古い住宅を改修して長く住むことが多いため、住宅窓の高断熱改修ニーズが高まっています。そこで、AGC とパナソニックは、AGC の Low-E ガラス技術・ガラスプロセス技術と、パナソニックのプラズマディスプレイパネルの開発・製造技術を応用し、欧州市場向けに「真空断熱ガラス」を共同開発することとしました。この「真空断熱ガラス」は、業界最高クラスの断熱ガラス^{※2}と同等の性能を持ちながら、厚みが約 1/4～1/5 のため、ガラス改修の際に既存のサッシをそのまま使うことが可能です。



真空断熱ガラス

パナソニックは今回建設する製造ラインの速やかな立ち上げを支援し、AGC は保有する建築用ガラスのマーケット情報、販売網、製品ブランドを活用し、製品の多用途展開を目指します。

AGC とパナソニックは、両社の強みを生かして、断熱ガラスの最大市場である欧州の住環境の向上に貢献します。

なお、今後両社は冷蔵・冷凍ショーケース市場への販売も検討していきます。また AGC は日本においても、住宅を含む建築物向けに販売を予定しており、パナソニックは自社の商材や事業への展開を図っていきます。

以上

—注釈—

※1 総厚約 6 ミリの真空断熱ガラス単体の熱貫流率として $0.7\text{W}/(\text{m}^2\cdot\text{K})$ 。2018 年 10 月 15 日現在、AGC 調べ。

※2 3 層構造の Low-E 複層ガラス（中空層にアルゴンガス使用）

—ご参考—

■比較イメージ



■両社について

AGC は、優れたガラスプロセス技術で高品質なガラス製品をグローバルな製造・販売拠点から安定供給し、建築用ガラスの世界市場でトップレベルのシェアを有しています。世界各地の多様な気候に対応する幅広い省エネガラスラインナップを今回販売開始する真空断熱ガラスに活用し、更なる環境負荷低減や快適性向上を実現します。

パナソニックは、従来保有していたプラズマディスプレイパネルの開発・製造技術を応用することで、約 6 ミリの薄さで業界最高クラスの断熱性能を有する真空断熱ガラスの開発および量産化を 2017 年 12 月に成功。総厚約 3cm のアルゴンガス入りトリプルガラスと同等以上の断熱性能で、現在住宅で一般的に使われている複層ガラスの約 2 倍の断熱性能を持ちます。既に、パナソニックの完全子会社の冷凍・冷蔵ショーケースメーカー「ハスマン社」のコンビニ・スーパー向け屋内用自動ドアのガラスとして先行納入しています。

○本件に関するお問合せ先

【AGC 株式会社】

報道関係者様：広報・IR 部 広報チーム（担当：太田） 電話：03-3218-5603

一般のお客様：ビルディング・産業ガラスカンパニー

カスタマーセンター 電話：0570-001-555（9:00～12:00、13:00～17:00）

【パナソニック株式会社】

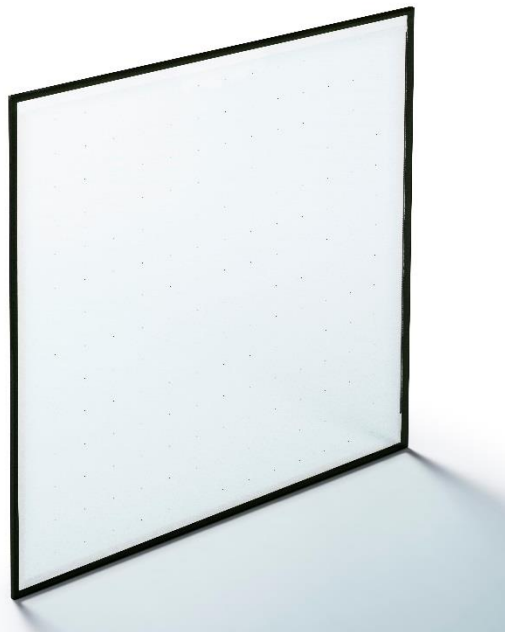
報道関係者様：エコソリューションズ社 宣伝・広報部 広報課（大阪）（担当：勝川） 電話：06-6909-7187

一般のお客様：エコソリューションズ社 ハウジングシステム事業部 建築システムビジネスユニット

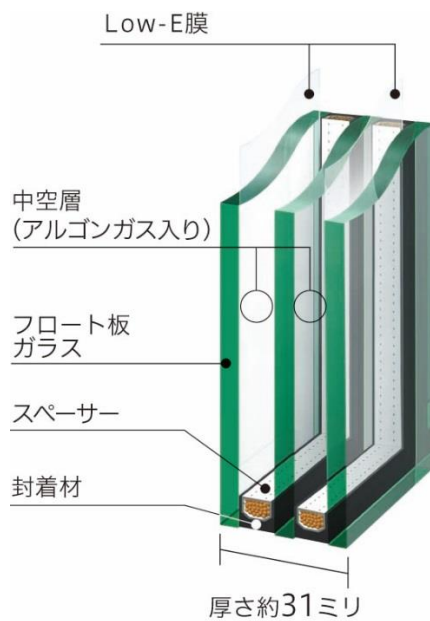
新建材事業推進部 電話：06-6908-1131（代表 9:00～17:30）

—その他—

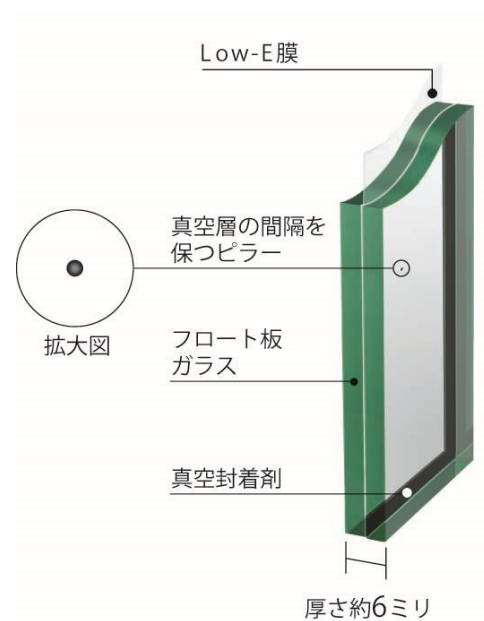
■画像ダウンロード



真空断熱ガラス



従来の断熱ガラス



今回開発した真空断熱ガラス

上記の商品写真は、「Panasonic Newsroom Japan」(URL : <http://news.panasonic.com/jp/press/>) の各リリースのページよりダウンロードができます。